

教育
夏休み！子どもの学びを広げています

◆多久市キャリアスタートウィーク

市内の義務教育学校8年生は、夏休みの期間中に「多久市キャリアスタートウィーク」を設定し、事業所の協力を得て職場体験を実施します。「体験活動を通して人と関わりながら将来の職業を描ける子どもを地域で育てる」という趣旨で行っています。市内外の事業所のみなさんの協力のもと、80か所で生徒たちが職場体験を行います。生徒たちを見かけられましたら、ぜひ声掛けをお願いします。(食事や買い物は、市内の店をご利用ください。)

○期間：8月22日～25日の4日間
○対象者：各校8年生170人

◆オーストラリア短期留学制度

「ボブ・ホークスカラシップ」出発!!

(株)オニザキコーポレーションが支援するオーストラリア短期留学制度で家永咲葵さん(東原席舎中央校8年)小松奈央さん(東原席舎東部校8年)に、招待状の贈呈式が7月24日に市役所で行われました。

この事業は次代を担う自立した青少年の育成とオーストラリアとの親善関係を築くことを目的としたもので、2人は7月30日から8月20日の約3週間、オーストラリアでホームステイをしながら語学(英語)学校に通います。



問い合わせ 教育委員会 学校教育課 ☎75-2227

今月の論語

知者は水を楽しみ
仁者は山を楽しむ

知者は流れてやまない水(川)を愛し楽しみ、仁者は緑豊かでどっしりとした静かな山を愛し楽しむ。

今月の帰宅放送は、東原席舎中央校 9年 天野美々さん(北多久町)です

教育長コラム

ちょっといい話



「子どもたちのお腹を満たしてあげたい」

万引き等を繰り返すKの家に、毎晩足繁く通ったものです。両親は偽装離婚、母親は深夜まで帰宅せず、二人の妹とKは常に空腹でした。ある晩弁当を手に訪問し「食べたと思うけど、これも入ると思うよ」と差し出すと、妹たちが喉をゴクンとならし、弁当の袋をとって素早く奥の部屋へ。そういう日々の繰り返しの中、Kはどうとう唐津の児童自立支援施設に入る事になりました、その寮生活で「家庭」を学びました。朝食を準備する指導員さんの横で、毎日テーブルに両手をつけて脚をピョンピョン上げて喜ぶ姿に、そんなに嬉しいのか尋ねたら「うん、僕の朝ご飯は田原先生のおにぎりだけやった」と私との秘密を話したそうです。

教育長 田原 優子

市民文芸

◆いつしかに春はゆきたり紫陽花に
細き雨降る六月も好き
川浪 信子

◆秀才でありし友にも降り掛かる
痴呆と言ふ名の恐ろしさもの
本村 則子

◆アジ刺しと熱燗好む夫のため
リハビリ帰りを準備し待ちおり
梶原恵美子

◆手を止めて私のことを思い出し
あなたの時で数えて欲しい
野崎 隆幸

◆老夫婦土砂にまみれて命終ゆ
穏しき日々の碎け散りたる
浦野 嘉恵

◆修復の土くつきりと夏燕
中嶋 清子

◆明易し軒先に聞く鳥の声
富樫 明美

◆梅洗ふ口に唾液のあふれけり
おおやはな

◆泰山木終の白花の白さかな
田中あつ子

◆空梅雨や畦に農夫の思案顔
倉成 皓二

◆風鈴の軽やか音色涼運ぶ
田中 正春

◆草取りが大好きなのね孫が云う
古賀ちひろ

◆かまぼこと云われるまでは雑魚でした
大谷 和

◆人生も斯うだったなあ迷い箸
松下 修

◆雨風に濡れて結び目堅くなる
西山 残月

川柳 《多久市川柳会 互選》

俳句 《互選》

短歌 《麦の芽短歌会 互選》